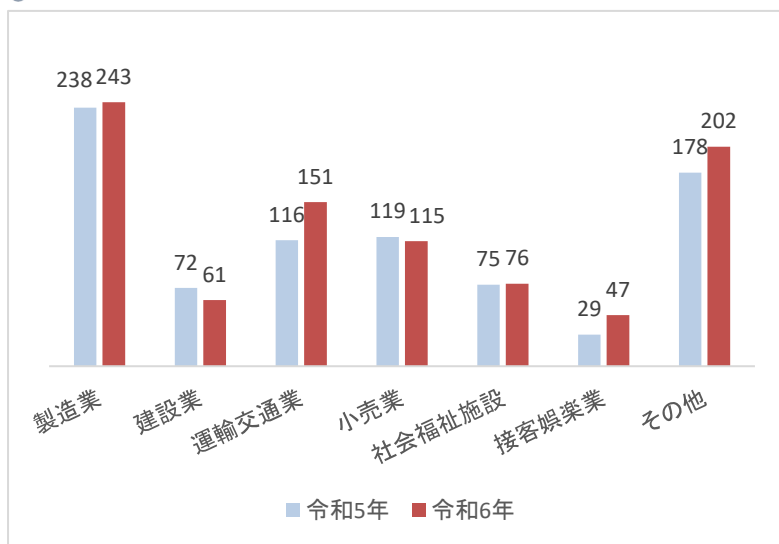


令和6年 前橋署管内 労働災害発生状況（速報）

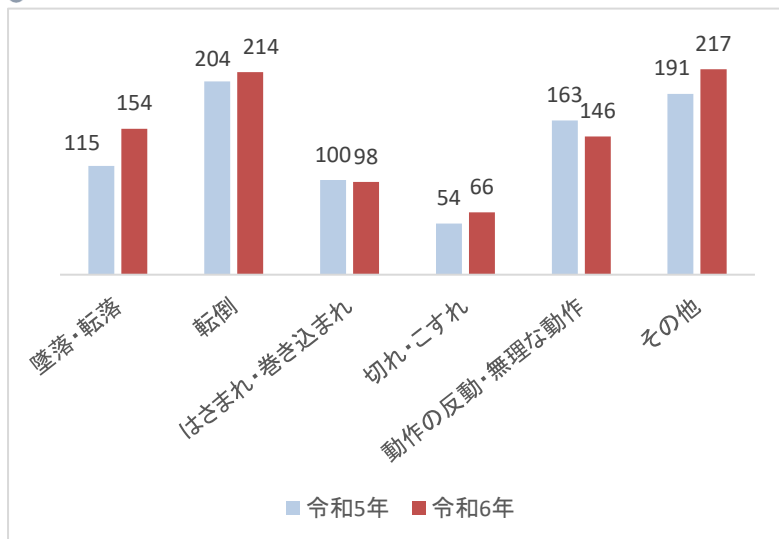
R6.11 月末現在

年末年始の労働災害に注意しましょう！

業種別



事故の型別



令和6年11月末現在での前橋署管内における休業4日以上[※]の死傷者数は、令和5年同期827人に比べ**68人増の895人**となりました（死亡者数は**1人減の2人**）。

※休業4日以上とは、労働災害発生後、休業4日以上となること。

（1）労働災害が**増加**した主な業種

- 製造業** 5人増の243人
- 運輸交通業** 35人増の151人
- 社会福祉施設** 1人増の76人
- 接客娯楽業** 18人増の47人

（2）労働災害が**増加**した主な事故の型

- 墜落・転落** 39人増の154人
- 転倒** 10人増の214人
- 切れ・こすれ** 12人増の66人

※今年、転倒災害とともに、**はしご・脚立からの墜落・転落**が非常に多く発生しています。

（3）労働災害が**減少**した主な業種

- 建設業** 11人減の61人
- 小売業** 4人減の115人

（4）労働災害が**減少**した主な事故の型

- はさまれ・巻き込まれ** 2人減の98人
- 動作の反動・無理な動作** 17人減の146人

※労働災害が減少している事故の型についても引き続き注意が必要です。

（5）群馬県全体での動向

- 死傷者数は108人増の**2,260人**
- 死亡災害は、昨年と比べ2人増の**16人**

令和6年 死亡災害事例

令和6年11月末現在
前橋労働基準監督署

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	4月 14時頃 30～49人	50歳代 運転者	配送先の養鶏場において、飼料タンクに飼料を補充する作業を行っていたところ、飼料タンクの上部から約8m下の地面に墜落した。	道路貨物 運送業	墜落・転落	建築物、 構築物
2	6月 2時頃 10～29人	50歳代 運転者	大型トラックを運転して国道を走行中、右カーブに差し掛かったところで、対向車の大型トラックがセンターラインをはみ出して正面衝突した。	道路貨物 運送業	交通事故	トラック

年末年始の災害防止を徹底しよう！

年末年始は慌ただしく、生活のリズムも変わりやすい時期です。安全で健康に一年を締めくくり、新たな年をスタートできるよう安全衛生活動のポイントを紹介します。

非常時作業時の災害を防ぐ！

大掃除などで一斉に設備を停止した上で点検や修理を行う「非常時作業」では、「はさまれ・巻き込まれ」などの災害に特に注意が必要です。

事前準備

作業計画書の作成、作業の手順・方法の決定などを協力会社や安全衛生担当部門・関係者が事前に行った上で、リスクアセスメントも実施して調整しましょう。

作業開始前ミーティング

作業の進め方、合図の方法、禁止事項などを確認し、リスク情報を共有しましょう。必要な保護具の着用の確認も忘れずに。



1 起動スイッチ等に施錠。(参考/グループロックアウト方式:複数人がキーを持ち、全員が鍵を引かなければ機械が起動しない方法)

2 暗い場所は補助照明などで適正な照度を保つ。

3 動力を遮断し(電源を切り)、機械設備を完全に停止させ、操作盤等の近くに「点検中のため操作禁止」など目立つように表示する。

4 チェックリストなどを使って漏れなく点検。指差し呼称で手順や安全の状態を確認する。

作業中に不測の事態が生じたら、作業を中断して作業指揮者に報告

合図は大きな声でハッキリと決められた方法で

作業が終了したら...

・無効にした安全装置、取り外した安全カバーなどを元に戻して、作業場を整理・整頓。
・ヒヤリ・ハット情報などがあれば、作業指揮者に報告。

脚立作業のポイント



1 天板の上に乗らない。脚立にまたがらない。

2 脚立は水平な安定した場所に設置する。

3 脚部に滑り止めの付いた脚立を使用し、開き止め金具を確実にロックする。

4 踏さん上で作業する際は、足を軽く開き、脚や膝を軽く天板に当てて姿勢を安定させる。つま先立ちも危険!

5 周囲に「作業中」などの注意喚起の表示をする。

6 脚立は原則として2m未満のものを使う。

健康管理をしっかりと

冬は身体が冷える上、年末年始は生活リズムも不規則になりがちで、体調を崩しやすいです。いつも以上に健康状態に気を付けて、免疫機能を高める工夫をしましょう。



からだを温める

睡眠をしっかりとる

適度な運動

バランスの良い食事

体調が悪いときは無理しない

転倒に注意！

慌ただしい年末年始は、転倒などにつながる不安全な行動をしがちです。また、雪や凍結した路面も注意が必要です。しっかりと対策をして、安全を確認しましょう。



チェックしてみよう! 例えば...

- 通路や出入口、階段などに物を放置していないか
- 床、通路などの水、油、粉類はその都度取り除いているか
- 安全に移動できるように、十分な明るさ(照明)が確保されているか
- 台車などは、荷が崩れたりしないよう安全に使用しているか
- 階段の滑り止めは外れていないか
- 段差のある箇所や滑りやすい場所に、注意を促すステッカー(標識)を掲示しているか
- 作業靴の底がすり減って滑りやすい状態になっていないか
- 歩きスマホなど足元から注意がそれる行動をしていないか
- 転倒などを予防するための教育を行っているか

冬季の安全運転

交通事故は年の後半に多くなる傾向にあり、特に12月に多発しています。一人ひとりが安全運転を心がけるとともに、毎日のミーティングなどでも繰り返し注意喚起しましょう。

出発前の準備

・目的地方面の交通情報や降雪など気象情報を収集。
・タイヤの摩耗状態、燃料の補給、タイヤチェーンの使い方などを事前に確認。冬タイヤでも走行困難になることがあるため、タイヤチェーンは必ず携帯する。

「急」のつく運転を避ける

・急ハンドル、急ブレーキ、急発進などは、スピンやスリップの原因になる。時間と心に余裕を持って!

凍結しやすい場所に注意

・橋の上、日の当たらない道路、交差点やカーブの手前などは凍結しやすいので、あらかじめスピードを落として徐行運転する。

車間距離を十分に確保する



詳細はこちら

中災防 年末年始無災害運動



(<https://www.jisha.or.jp/campaign/musaigai/index.html>)

